



## 「外国語について」

校長 嶋田 一郎

外国語というと英語だと考えてしまう。しかしながら、他国にはいろいろな言葉がある。特に、隣国の韓国語、中国語が最近佐世保市内でも目に付くことが多くなった。クルーズ船の佐世保寄港が増えて、韓国や中国の観光客が増加しているからである。

また、本校では韓国の姉妹校である釜山電子工業高等学校と国際交流を実施している。11月には、お互いにホームステイを実施した。釜山電子工業高等学校の生徒は日本に来て日本語で、本校の生徒は釜山に行って韓国語で話すように努力したようである。やはり、その国の言葉で話した方が親近感が湧く。

ところで、西日本新聞に次のようなことが掲載されていた。「国としては古い付き合いなのに言葉は通じない」、「日中韓3か国の交流行事では、そんな場面がよくある」、「同時通訳に助けられ、討論の場では自国語で話す。ところが通訳なしの懇親会になると、ぎこちない英語による会話が続く。どこか寂しい。同じアジア人なのに」。佐世保市は韓国、中国と近距離である。隣国との付き合いは英語で話すよりもその国の言葉で話す方がいい。12月には国際交流で釜山電子工業高等学校を訪問する。少しでも韓国語を話せるように勉強したいと思う。

「アンニョンハセヨ」。この言葉から、韓国との親善に努めていきたい。

## 「第12回 私学振興大会」 - 公私間格差の是正を求めて

11月1日(火)、長崎で開催された「第12回私学振興大会」に、保護者・教職員の計39名が参加しました。

2台のマイクロバスを利用し、始めにランチバイキングに行きました。その後、私学振興大会に参加しました。大会では、公私間格差の是正を唱える決議文を、長崎県副知事 濱本磨毅穂様に受け取っていただきました。

また、今回は、タレントの奈美悦子さんの講演がありました。演題は「食事と健康」でした。御自身の抱えている病気をよく勉強し、「よく噛んで食べる」、「精製された米、砂糖などの栄養は減少している」など「食」に関する内容でした。御多用の中、御参加いただきました保護者の皆様には、心からお礼申し上げます。



【私学振興大会の様子】



【ランチバイキングの様子】

## 「第48回文化祭 ～ 彩 ～」を開催

11月6日(日)、第48回文化祭を開催しました。「彩」(いろどり)をテーマに、クラス、学科、文化部などが日頃の学習成果を発表しました。どの部門も例年にない工夫が施され、それぞれに興味深い仕上がりになっていたと思います。

また、自動車整備振興会のマイカー点検教室や育友会によるバザー、餅つきも活気があり、華を添えていただきました。さらに、今年の新しい試みとして、企業説明会を開催し、特に、1・2年生に対し、進路に向けた意識向上に役立てることができました。

関係の皆様、誠にありがとうございました。



## ホームステイで生徒間の国際交流深まる

11月7日(月)～12日(土)、姉妹校である釜山電子工業高等学校からホームステイにきた生徒8名を本校生徒の家庭に快く受け入れていただきました。短い期間でしたが、生徒たちから、とても良い体験ができたとお礼のことばがありました。

また、11月14日(月)～19日(土)の6日間、本校からも7名の生徒が釜山電子工業高等学校の生徒の家庭へ、本校初となるホームステイに行きました。

生徒たちは、事前に「韓国語学習会」を行い、韓国についての基礎知識や簡単な日常会話を勉強して、釜山へのホームステイに参加しました。釜山では熱烈な歓迎を受け、生徒たちは少し緊張していましたが、ホストファミリーの「おもてなしの心」に触れ、楽しく充実した時間を過ごしてきました。

学校では、ハンゲルのパソコンで情報処理の授業を受けたり、学食で給食を一緒に食べたりと素晴らしい経験ができました。元気に帰ってきた生徒たちは、「楽しかった、また行きたい」、「韓国のお父さん、お母さんが優しくて帰りたくなかった」等、嬉しそうに感想を述べてくれました。

今回、御協力いただきました皆様には、衷心よりお礼申し上げます。

